

わる気と感動

学校だより20号
平成30年
12月25日(火)

= 80日間の二学期 確かな成長があった! =

80日間の二学期で、皆さんは、輝城祭、新人戦、音楽発表会などの大きな行事で、集団としての強いまとまりと、発表などでの質の高さ、運動面での力強さを学校内外に示すことができました。輝城祭や音楽発表会へは地域の皆さんの参加も年々増えてきています。

また弁論大会、英語暗唱大会、教育祭図工・美術作品展、各種応募作品などで数々の賞も受賞しました。美術文芸部は身延高のライフミュージアムに輝城祭の力作や個人作品を出品しました。吹奏楽部の県アンサンブルコンテストは練習の成果を発揮でき銀賞を受賞し、文化的活動でも確実に成果を挙げました。10月の南部町体育祭では、3年生がソーランの踊りと、応援のエールを披露し多くの方からお褒めの言葉をいただきました。1年生が出演した12月の内船歌舞伎公演会は、立ち見のお客さんができるほどの大盛況で、南部中学生の出演のおかげで、内船歌舞伎が南部町全体のものになったと司会者の感謝の言葉をいただきました。各種行事を通して『地域とともにある南部中学校』が確立してきていると感じました。

一方、日常生活を振り返ってみると、サイレントゾーンを意識しての行動や声かけが以前よりできるようになってきました。2学期最後のいじめアンケートでは、いじめがあったとの報告は一件もありませんでした。全ては紹介できませんが、2回にわたる学習委員会の取り組みは、確実に学習に対する意欲を高めました。報道委員会の、毎日のニュースの紹介や、今年を表す漢字一文字、ベスト5の発表など新たな取り組みも見られました。二学期の後半は、十分な時間が取れないにもかかわらず、全ての委員会が例年以上に活発に活動できたことは大いに評価できます。

しかし、職員室や校長室前の廊下以外では、周囲を気にせず大声を出したり、廊下を走ったり、周囲への配慮が足りないなどの行為はまだ見られました。一人ひとりが真剣に考えたはずの、いじめを考える全校集会後に、残念なことに嫌がらせがありました。みんなで取り組む場面で、本気で取り組めない事もありました。それでも、先週の生徒総会、学年総会、学級会の中で、どの学年も熱心に時間をかけ、今の南部中の課題や現状に『気づき』今後やるべきことを『考える』事ができたと思います。あとは三学期の『行動』次第です。

校長先生は、生徒総会での『目標やあるべき姿に近づけていない。』という評価とは違って、生徒会活動を通して、具体的には代表委員会・委員会の活動、また学級や学年の活動を通して、二学期後半は、日常生活の課題はかなり改善していると思います。生徒会の目標には確実に近づいていていると思っています。

『なんでも言い合える関係』『本音で語り合える関係』を作ることは簡単ではありませんが、様々な取り組みの中で、そんな関係を築きつつあると感じています。

全校生徒・全職員を含めたチーム南部中は、いくつもの壁を乗り越えながら、チームとしてのまとまりと力を、確実につけてきていると実感しています。自分を成長させられるチームになってきていると思います。

冬休みは14日間と短い期間ではありますが、健康・安全に留意して、学習や部活動、生活面で自分の課題にしっかり取り組んでください。

特に3年生は受験生として、甘い気持ちは捨て、もうこれ以上頑張れないと思えるくらい、学習に自分を追い込んでください。過去、希望先に合格できなかった生徒は、この時期に真剣に取り組めなかった生徒です。

1・2年生は、家族と過ごす時間や地域の行事も大切にしてください。

1月9日の三学期の始業式で、皆さんの元気な姿に会えることを楽しみにしています。

(終業式 校長あいさつより)

～保護者の皆様、地域の皆様へ～

長かった二学期ですが、南部中学校の教育活動に、絶大なるご支援をいただきありがとうございました。今後も引き続きご指導ご協力をお願いします。良いお年をお迎えください。